

## 平成 26 年度 第 2 回経営学教育 F D / I C T 活用研究委員会 議事録

- I. 日時 平成 26 年 6 月 6 日(金)13 : 00~15 : 30
- II. 場所 私立大学情報教育協会事務局 会議室
- III. 出席者 佐々木委員長、岩井委員、寺澤委員、雑賀委員、日置委員(テレビ会議)、宮林アドバイザー、事務局 井畑事務局長、森下
- IV. 検討事項
1. 経営学教育におけるアクティブ・ラーニング実践事例研究対話集会の企画について  
開催要項(案)をベースに議論をし、開催の目的、対話集会のねらい、プログラムについて確認をした。
  2. 対話集会に向けた今後の進め方について
    - (1)開催の趣旨説明とこれまでの研究の経緯 14 : 00~14 : 10
    - (2)様々なアクティブ・ラーニングの取り組み事例の紹介 14 : 10~15 : 00
      - ① MBA での事例として岩井委員の協働型の体験学習の内容について説明をいただいた。
      - ② 学部講義での事例として佐々木委員長の体験学習の内容について説明をいただいた。
      - ③ 参加者による事例発表では、参加者からの発表が少なければ、委員会のメンバーから発表できるように準備しておくとの話がなされた。
    - (3)質疑応答・意見交換 15 : 00~15 : 50  
寺澤委員が司会進行し、取り組み事例及び本協会の教育改善モデル、さまざまな方策などを題材にアクティブ・ラーニングが十分に達成されない要因、今後の改善点、教育効果を判定する方法などを中心に意見交換を行う。
    - (4)課題とまとめ 15 : 50~16 : 00  
委員会の他の委員(安田、雑賀、日置、宮林)が、来年につなげるための振り返りを行いながら、課題を整理する。
  3. その他
    - ①本研究集会に出席するための教職員に対するインセンティブとして、本研究集会に出席すれば教育業績として評価されるようなものにしなければならない。
    - ②各大学の学部長宛に、アクティブ・ラーニングの研究集会の開催案内を出し、関心のある教職員の目に触れるようにしていく必要がある。

以上